

経営状況シート

法人名：公益財団法人高知県牧野記念財団

主管課名：自然共生課

所在地	高知県五台山4200番地6		
電話番号	088-882-2601	FAX番号	088-882-8635
ホームページ	URL: http://www.makino.or.jp/		
設立年月日	平成11年3月15日	代表者職氏名	理事長 岡村 昭一
沿革	平成11年3月 財団法人高知県牧野記念財団設立 平成11年3月 県から出捐(10,000千円) 平成12年7月 財団法人土佐寒蘭振興協会から寄附受納(30,500千円) 平成13年12月 県から出捐(200千円) 平成24年4月 公益法人に移行(公益財団法人高知県牧野記念財団)		
基本財産	40,700千円		
うち県出資	10,200千円		
県出資率	25.1%		
(県以外の主な出資者)			
(財)土佐寒蘭振興協会	30,500千円		

設立目的	牧野富太郎博士の植物学上の業績を顕彰し、野生植物及び栽培植物の調査研究や栽培保存等を行うことにより、広く植物学の理解と自然環境に対する認識を深めるとともに、教育文化の向上を図り、もって県民の文化水準の向上及び福祉の増進に寄与することを目的とする。	事業内容 (1) 植物に関する調査及び研究事業 (2) 植物に関する教育普及事業及び催事 (3) 牧野富太郎博士の業績を顕彰する調査及び研究事業 (4) 高知県立牧野植物園の運営管理 (5) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業
------	---	--

I 正味財産増減計算書

(単位:千円)

	5年度決算	6年度決算	7年度予算
一般正味財産増減の部			
経常収益 a	707,262	699,353	724,140
基本財産運用益	7	12	20
特定資産運用益	1	4	5
受取会費	231,192	137,003	91,451
事業収益	424,889	529,865	606,423
受取補助金	1,978	390	330
受取寄附金	2,307	3,011	1,540
その他収益	46,888	29,068	24,371
経常費用 b	730,503	643,931	729,501
事業費	720,448	629,452	716,222
うち減価償却費	1,589	2,399	2,163
管理費	10,055	10,996	13,279
うち減価償却費	0	0	0
その他費用	0	3,483	0
当期経常増減 c=a-b	▲ 23,241	55,422	▲ 5,361
経常外収益	94	54	0
経常外費用	28	101	0
当期経常外増減 d	66	▲ 48	0
当期一般正味財産増減額 e=c+d	▲ 23,175	55,374	▲ 5,361
指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
一般正味財産への振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額 f	0	0	0
当期正味財産増減額 e+f	▲ 23,175	55,374	▲ 5,361
正味財産期末残高	158,179	213,553	174,727

II 貸借対照表

(令和6年度決算 / 単位:千円)

資産の部	347,560	負債の部	134,007
流動資産	204,550	流動負債	92,417
固定資産	143,010	固定負債	41,590
うち基本財産	40,700	正味財産の部	213,553
		うち一般正味財産	164,456
		うち指定正味財産	49,098
資産計	347,560	負債正味財産計	347,560

令和7年度の主な事業と事業費 (単位:千円)

事業名	事業費
牧野植物園運営事業	668,207
研究事業	30,086
企画事業(調査事業受託、会費)	16,793
その他事業	1,136
事業費合計 = g	716,222

III 給与等支給状況 (令和6年度決算 / 単位:千円)

常勤役員	報酬を支払っている役員数	2人
	報酬総額(年額)	15,419
非常勤役員	報酬を支払っている役員数	0人
	報酬総額(年額)	0
職員(※)	平均年齢(R7.3.31時点)	46
	平均給与(年額)	3,195
	平均賞与(年額)	588

※県等からの派遣職員及び臨時・嘱託・非常勤職員等を除く

IV 県の財政支出状況

(単位:千円)

	5年度決算	6年度決算	7年度予算	備考(主な目的・内容)
補助金・負担金	0	0	0	
貸付金	0	0	0	
委託料	410,362	519,548	595,035	牧野植物園管理運営、希少野生植物分布調査、希少野生植物食害防止対策
計	410,362	519,548	595,035	

V 負債の部のうち県の支援状況

(単位:千円)

	5年度末	6年度末
県貸付金残高	0	0
債務保証残高	0	0
損失補償残高	0	0

VI 役職員の状況

(令和7年4月1日現在 / 単位:人)

(1) 役員数

	理事	監事	計
常勤役員	3	0	3
うち県派遣職員	0	0	0
うち県職員OB	2	0	2
非常勤役員	10	2	12
うち県職員	1	0	1
うち県職員OB	0	0	0
計	13	2	15

(2) 職員数

プロパー職員	25
県派遣職員	0
県以外からの派遣	0
県職員OB	0
任期付職員・その他	18
小計	43
嘱託・非常勤等	35
臨時職員	0
合計	78

備考:

【1】高知県立牧野植物園の設置目的（高知県立牧野植物園の設置及び管理に関する条例（昭和33年高知県条例第6号）第1条）

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため、高知県立牧野植物園（以下「植物園」という。）を高知市に設置する。

【2】現状の取組（令和7年度の主な事業活動）

1 植物研究活動

（1）生物多様性研究

①高知県の植物研究

- ・高知県に自生する植物に関する分類及び生態学的研究
- ・希少種、絶滅危惧植物などの調査研究
- ・市民協働調査及び外来植物防除活動
- ・「WEB版高知県植物図鑑」の公開に向けたデータベースの構築

②ミャンマー植物分類学・民族植物学研究

- ・ミャンマー植物誌編纂に向けた収集腊葉標本の同定
- ・ミャンマー維管束植物データベースの公開及び多様性研究成果の発信

（2）個別研究

○植物分類学、植物生態学、有用植物学の各分野で研究を展開し、研究成果を発信

（3）標本管理

- ①ミャンマーにおいて収集した標本の整理、管理、保管、データベース化
- ②四国産及び周辺地域の植物標本を収集し、地域に根ざした標本庫としての機能を充実
- ③国内外の研究活動により採集した標本や寄贈標本の同定や標本交換により比較標本を収集
- ④研究者及び調査ボランティアなどの標本閲覧に対応し、開かれた標本庫として活用を推進

(4) 受託事業

- ①高知県希少野生植物食害防止対策事業
- ②野生植物分布調査事業

(5) サイエンスコンテンツ普及事業

- 様々な活動や事業を通して蓄積してきた研究成果などを、県民の皆様に対し積極的に還元していくことを目的とした講座や公開研究セミナーなどを実施

(6) 企画展示

- 「こんにちは、タネです。」(R7.7.12(土)～R7.12.7(日))

(7) 常設展示

- ①牧野富太郎の生涯
- ②植物の世界
- ③牧野蔵
 - ・牧野博士の植物図や植物標本の展示及び牧野博士宛て書簡の翻刻展示

(8) 牧野文庫

- 牧野博士の蔵書・植物図、遺品など約60,000点を収蔵(研究者・専門家の学術研究活動に供する。)

(9) 図書室

- 植物分類学の文献を中心に有用植物学、薬用植物学の文献を収集、整理(一般来園者向けに学習などに供する。)

(10) 教育・社会活動

- ①高知大学、大学院連携講座の開催
- ②学芸員実習
- ③植物分類学セミナーの開催
- ④高知県の植物ニュースレターの発行
- ⑤研究紀要「やまとぐさ」の出版
- ⑥植物分類学など各分野の学会や日本植物園協会大会などの場での成果発表
- ⑦植物の鑑定依頼、問い合わせへの対応、植物相談
- ⑧植物分類学、植物生態学の専門的見地から各種委員会などで助言

2 植物研究交流センターを拠点とした活動

(1) 薬用植物の栽培・応用研究

- ①高知県における薬用植物の栽培普及
 - ・対象とする薬用植物種の系統保存と増殖方法の確立
- ②海外産、県内産植物を対象とした有用活性物質の探索と開発
 - ・海外産植物エキスライブラリーを用いて活性スクリーニングを実施し、有用素材の探索と開発
 - ・高知、四国産植物のエキスライブラリーを構築。原料供給と環境保全を両立させる体制づくり
- ③研究交流
 - ・共同研究や連携を強化し、薬用植物の試験栽培拡大と薬用植物の産地化へ向けた取組
 - ・成分抽出から分析試験まで多くの研究工程を植物研究交流センター内で行い研究を効率化
 - ・専門分野の異なる研究者間で知見や技術を共有し、応用研究を促進

(2) 教育普及推進事業

- ①キッズラボ
 - ・主に小学生を対象に、キッズラボで実験や顕微鏡を使った観察など、専門的な内容を含むプログラムを実施
- ②植物教室
 - ・一般向け体験教室
 - ・子ども向け体験教室
- ③学校向け学習プログラム
 - ・遠足や校外学習、修学旅行で来園する学校に対して学習プログラムを提供
- ④展示館シアター
 - ・オリジナル作品4本を定期上映
- ⑤ボランティア活動支援
 - ・イベント、教室、園内案内などに活動の場を提供。ボランティア向けセミナーを実施
- ⑥子どもガイドの活動支援
 - ・牧野博士について学んだ発表する場「牧野先生のおはなし」の活動支援

3 植物の管理と園地整備

(1) 園地の維持管理

①北園（教育普及園）

- ・牧野博士ゆかりの植物コレクションの拡充。植物解説ラベルのカラー化など園地の教育普及機能の充実。土佐の植物生態園における自然樹形を重視した枝抜などによる全体的な調和の形成。土壌改良など栽培環境の改善。絶滅危惧種の保全

②南園（観賞園）

- ・東洋の園芸植物が年間を通じて咲きほこる個性的な景観の形成。蛇紋岩植生園や石灰岩植生園それぞれの地質に特異的な県内植物の収集、コレクションの充実

③温室

- ・熱帯花木や果樹の開花結実の促進。気根や幹生果など熱帯植物が持つ特徴が観察できる栽培管理と、観賞性が高く変化に富んだ展示形成。研究型植物園として学術性の高い植栽の構成

④こんこん山広場

- ・子供たちや家族連れが楽しみ憩う場所の形成。台湾産ツツジのコレクションや牧野博士手植え植物、植栽植物の生長や変化、広場の成熟過程の経時的な観察環境の整備

⑤ふむふむ広場

- ・来園者が自由に植物に触れ、主体的な観察や体験を通じて様々な発見及び学習を行える場の整備

⑥薬用植物区

- ・薬用植物を広く展示するとともに、高知に自生する薬用植物を紹介。薬用部位となる蕾や果実、種子だけでなく、観賞価値のある花や他園ではあまり見ることができない品目の開花・結実の促進。伝統的な栽培法などを紹介することによる興味と理解の促進

(2) 植物の管理と園地整備

①栽培技術力の向上、栽培環境の改善及び個体情報管理

②四国産貴重植物の重要性と緊急性に基づいた種子の採取及び保存。野外調査などで得られた自生地情報を活用した栽培増殖方法の確立。災害による貴重種の喪失を防ぐための長江圃場から園地及び温室への植栽の推進

③土佐寒蘭の歴史的銘品及び観賞性の高い葉芸品種の土佐寒蘭センターでの展示。長江圃場の栽培棟で増殖させた株を園地へ植栽することによる野生に近い状態での寒蘭の観賞環境の形成。桜草や椿などの季節の伝統園芸植物の土佐寒蘭センターでの展示。解説パネルによる由来や観賞のポイントの紹介、伝統園芸植物の魅力の普及

- ④愛好団体の協力のもと愛培家により育成された鉢植えの四季折々の展示。展示・教室・販売をセットとして開催することによる新たな植物愛好家の増加を促進

4 イベントの実施

- ①春のフラワーイベント（R7.3.22（土）～R7.5.11（日））
- ②えびね展（R7.4.19（土）～R7.4.20（日））
- ③牧野富太郎生誕記念「マキノの日」（R7.4.24（木））
- ④ヤマアジサイ展（R7.5.17（土）～R7.5.18（日））
- ⑤さつきまつり（R7.5.22（木）～R7.5.25（日））
- ⑥ガンゼキラン大群落の限定公開（R7.5.23（金）～R7.5.30（金））
- ⑦サボテンと多肉植物展（R7.6.6（金）～R7.6.8（日））
- ⑧食虫植物展（R7.7.19（土）～R7.8.31（日））
- ⑨オオオニバスにのろう！（R7.7.26（土）、R7.8.11（月））
- ⑩夜の植物園（R7.8.16（土）～R7.8.17（日））
- ⑪五台山観月会（R7.10.4（土）～R7.10.5（日））
- ⑫寒蘭展（R7.11.22（土）～R7.11.24（月））
- ⑬ラン展（R8.2.7（土）～R8.3.1（日））
- ⑭フラワーイベント（R8.3.20（金）～R8.5.10（日））
- ⑮桜の宵（R8.3.28（土）～R8.3.29（日））

5 広報活動

- ①ニュースリリース・メディア対応
 - ・季節の植物展示会やイベントなどのマスメディアへのプレスリリースを活用した効果的な情報発信
- ②催しのプロモーション
 - ・牧野富太郎博士や牧野植物園のさらなるファンづくりやリピーター獲得のための催しを通じた魅力発信及び誘客促進
- ③インターネットを活用した広報活動
 - ・ホームページやSNS、インターネット広告による幅広い層への発信力の強化
- ④広報誌・チラシ制作・配布
 - ・季刊広報誌「牧野植物園だより」、年報、広報物（チラシ、パンフレットなど）による広報
- ⑤ガイド事業
 - ・団体向け：同行ガイド、定点ガイドなど、団体来園者向けガイドツアー
 - ・個人向け：見ごろの植物マップなどを活用した個人向けガイドツアー

- ・本館インフォメーション：「まきのガイドポケット」における見頃の植物やイベントなどの紹介
- ・五台山竹林寺と連携した周遊ガイドツアー
- ⑥営業活動
 - ・県外の観光商談会を通じた団体ツアーや教育旅行の誘客促進
- ⑦広報事業活動
 - ・練馬区立牧野記念庭園や東京都立大学牧野標本などとの連携による牧野博士に関する情報の発信
 - ・牧野富太郎博士や植物園に関する多岐にわたるメディア取材対応
 - ・牧野博士に関わる児童書や書籍の編集協力や画像資料の外部企業・団体への提供協力
- ⑧財団会員「友の会」事業
 - ・財団事業や活動への理解を深めてもらうための交流イベントや友の会限定ツアーなどの開催

【3】収入増に向けた今後の取組の方向性

高知県立牧野植物園（牧野富太郎博士を顕彰する施設であり、植物の収集・保存・展示、研究、教育普及、憩いの場の提供といった機能を備えた総合植物園）の指定管理者として、多岐にわたる管理運営業務を着実に実施するとともに、効果的な広報を展開することなどを通じて、より多くのお客様にご来園いただくことにより、利用料金収入の安定的な確保を図り、あわせて、有料ガイド事業を継続するなど、収入の維持・拡大に努める。

年間利用者数（ 高知県立牧野植物園 ）

単位：人

年 度	一 般	団 体	18歳未満	長寿手帳	優待 ※	年間観覧券	合 計
H28	60,248	8,406	20,541	28,767	19,934	8,458	146,354
H29	59,079	7,811	17,461	26,986	15,183	8,569	135,089
H30	68,490	8,726	18,138	34,783	15,808	9,590	155,535
R1 (H31)	74,881	8,452	24,733	39,724	15,800	10,484	174,074
R2	44,272	2,378	16,298	33,913	8,982	10,065	115,908
R3	52,228	2,077	18,981	32,171	11,872	11,294	128,623
R4	102,707	20,110	24,315	38,196	16,957	12,019	214,304
R5	250,014	92,359	35,738	42,435	33,860	11,794	466,200
R6	153,455	46,833	23,639	32,777	24,902	9,551	291,157
R7(11月末時点)	103,637	29,373	15,415	17,672	17,286	5,944	189,327

※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
戦傷病者手帳、被爆者健康手帳 等の所持者